

2006年5月10日発行

# ぷろす

四季の会・ユーザーズ・サービス

208号

発行人 浅沼 邦夫

拝啓 新緑の候、先生におかれましては益々御健勝のことと存じます。

荒川静香選手がアマ引退し、アイスショーなどで活動していくことになりました。残念か！よかったか！荒川静香さんはオリンピックの金メダリストとして日本では、はじめての選手でした。彼女は前年の世界選手権で第9位に落ちた。フィギュアの審査基準が変わり、彼女の得意な分野が評価されなくなったためであり、本人は引退しようと思った。しかし、「トリノオリンピックを目指す！」前向きに立ち向かう姿勢に変わった。世界水準のコーチを求め、ひたむきな努力で、見事に「金メダル」を獲得したので。

**成功するのだという強い信念をもって、成功を信じられるものにするための様々な条件や要因を探し出し、それに向かって努力すれば、成功の確率ははるかに高くなります。**

自分の意識を否定的に導く考え方を「マイナス発想」、反対に、成功するのだという強い心構えをもち続け、**全てに対して積極的、前向きに立ち向かう考え方を「プラス発想」と呼びます。**

仕事や人生に取り組む姿勢が、プラス発想であるかマイナス発想であるかによっては、結果に天と地ほどの隔たりが生じます。マイナス発想ばかりを習慣づけている人は、おのずと心と行動がマイナスの方向に向いてしまい、まず目的を成就することはできません。

逆に、プラスに発想して、必ず成功するのだという確信をもって行動すると、必ず成功の方向に現実が展開していきます。

荒川静香さんのように逆境にあっても、それを「天の与えてくれたチャンスだ」と受け止め、成功することを心から信じ、そ

れに向かって努力を重ねることができれば、人生の幸福は必ずあなたのものとなるでしょう。

## プロは一人前になってから本格的に勉強する

荒川静香さんはプロになるのです。私たち会計事務所もプロです。成功するには**プラス発想が何よりも大事。成功のためには第一のポイントだ**と思うのです。第二の条件は、常に素直な心を持ち、物事に積極的に対処していく姿勢を身につけることです。

人間というものは、子供の頃は、なにごとにも素直に感じとる力が備わっています。しかし、成長するとともにその心を失いがちです。感じる前に、自分のプライドやいろいろな思惑が先行してしまうからです。仕事や人生上のいろいろな出来事に対するとき、私達は素直な心を持ってのぞむようにすべきです。

また、素直であることは感性を豊かにします。感性が豊かということは、ものごとにも常に新鮮な気持ちで接することができ、生き生きとした感動を持てるということです。それは、私たちの行動を常に積極的、前向きな方向に導いていきます。これが第二のポイントです。

**プロは、一人前になってから本格的に勉強するといわれます。できる人ほど、学ぶことに熱心です。そして、どんなに偉くなくても、向上心を絶やしません。**

かつて、ホンダの創業者・本田宗一郎氏について、ソニーの井深大氏が、「傷だらけの左手」という話で次のように書いています。「……本田さんの左手が傷だらけだったことは、ご存知の人も多いでしょう。右手はハンマーを持って叩くほうですから、こちらはまったく怪我をしていない。きれいなままです。それに対して左手の方は、ハンマーに叩かれて、怪我をしていない指がない。取れそうになった指をつないでいるのだそうです。

手だけでなく、顔や体のほうも、レース中の事故でずいぶん怪我をしています。文字通り「傷だらけの人生」です」(『わが友、本田宗一郎』文春文庫)

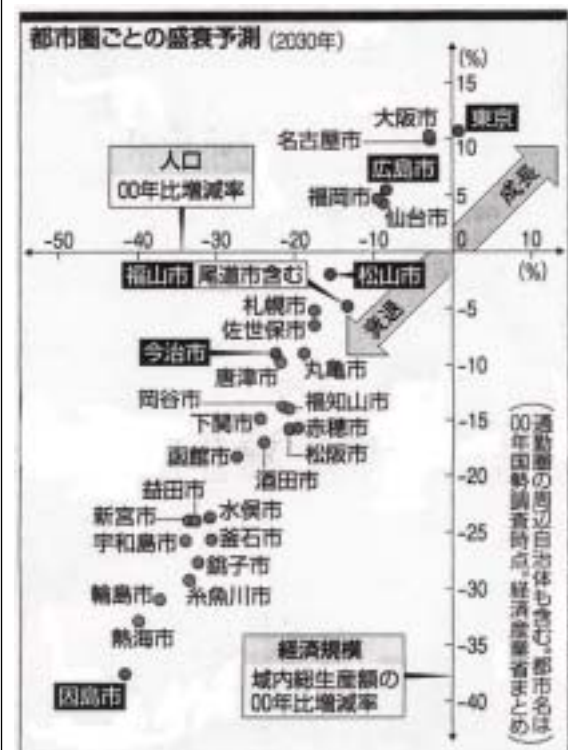
一日、たとえば朝のほんの少しの時間、何かのために勉強する時間をとり、それを継続したとしたら、それだけでもあなたの人生は大きく変えることができます。一生勉強を続けることは、人生の成功の条件であることは論を待ちません。これが**三つのポイント**です。(『大いなる生き方』土屋公三氏著 を参考にしました)

## 地方で生きる

時代は大きく変化、乱世です。お客様企

業も、取引先も、金融機関も、会計事務所も大変な時代です。朝日新聞によると、「成長」は東京だけ、一極集中です。大阪市も名古屋市も福岡市もやがて、衰退していくようです。これにのっていないが、足利市も前橋市も甲府市、長野市等々は今治市と似たりよったりです。

## 10万人都市が没落「衰退」15年で1.5倍



(朝日新聞5月7日号より)

**この時代、会計事務所はどうなるか！！ 所長先生は、我が事務所の戦略を定めていくことが大事です。地域性を知る。御用達経済。「その場で会計」。面と向かい合うお客様が大事かもしれない。広域的でインターネットでの手探り？ハイタッチが更に重要性を帯びる。人間が中心である。そこにごそ地域NO.1をつくる、基礎があるかも知れないのです。**

お客様社長が困っている5つのことがある。試算表(売上や利益のわかる表)が数ヶ月遅れでしか確認出来ず、経営の役に立たなくて困っている。銀行から、「先月の会社の数字(試算表)を教えて下さい」と言われてもすぐに出せずに困っている。

決算に向けての話や、現状の会社の数字についての解説をしてくれる人がいないので困っている。決算書の見方を教えてくれる人がいないので、銀行や、税務署がうちをどう見ているかわからなくて困っている。パソコンを使っているの経理業務のアドバイスをしてくれる人がいないので、事務の効率化がはかれないで困っている。

ソリューション(問題解決)会計事務所になる。いつの時代でも成長発展の基本になると思います。